
大学教育におけるポートフォリオの役割

WebClass eポートフォリオ



平成23年5月13日

-
- ◆日本データパシフィック株式会社：1985年 4月設立
 - ◆大学向けの教育ソフト、教育システム、教育コンテンツの研究/開発/販売が主要業務
 - ◆現在、全国300大学で弊社製品をご提供中です
 - ◆主力商品：Type Quick（タイピングソフト）全国300校
WebClass（eラーニングシステム）全国96校
U-Assist（eラーニングコンテンツ）全国106校
-

ポートフォリオとは？

学習者の学習経験およびその他、身につけた能力などの証拠となる 一連の学習成果物を指す。

eポートフォリオではデジタル形態の学習成果物を

- ・ どのように蓄積し・・・
利用し・・・
評価し・・・
役立ててるのか・・・が重要である

eポートフォリオに成果物を蓄積し評価することの
メリットは？ その役割とは？

ただし、ポートフォリオの種類により役割が異なる。

日本の大学で利用されているポートフォリオの分類

1) コースラーニング系

ー授業支援ポートフォリオ

- ・ 授業ごと、グループごとに成果物を管理できる。
- ・ 学生同士の評価や教員評価が可能である。
- ・ 学習の振り返りができる。

2) ディベロップメント系

ーキャリア支援ポートフォリオ

- ・ 学生のプロフィールを蓄積し長期的なデータ管理が可能である。
- ・ 自己PRの資料を公開できる。
- ・ 卒業生とのデータの比較が可能である。
- ・ 求人検索との連携が可能である。

ーティーチングポートフォリオ

- ・ 教育活動の成果と質を証拠立てる資料を蓄積し、教育業績の評価を受けられる。
- ・ 教職課程の実践演習評価などで利用できる。

ーショーケースポートフォリオ

- ・ 学習者が選んだベストワークだけを閲覧可能にできる。
- ・ 学習者の履歴書として再構築しやすい。

IMS定義のeポートフォリオの種類

IMS（アメリカの高等教育機関を中心とするeラーニングの標準化団体）で定義している6種類のeポートフォリオ。

Assessment e Portfolios (評価)	認定機関が設定した能力基準を満たしている証拠を示すために教育機関が用いるもの。
Presentation e portfolios (学習成果)	学習やその成果を一定の書式で外部に示すためのもの。
Learning e Portfolios (学習支援)	長期にわたって学習を記録し、手引きし、発展させるために、学習計画や学習経験への振り返りを示すためのもの。
Personal Development e Portfolios (キャリア・雇用)	個人のキャリア開発のためのlearning e Portfolioを含むが、それ以上に専門性の開発や雇用に関連するため、presentation e Portfolioの要素を含んでいる。
Multiple Owner e Portfolios (グループで活用する)	上記ポートフォリオの要素を含み、集団協調学習の証拠を残すため、複数の学習成果を含んでいる。
Working e Portfolios (総合的・複合的)	上記のすべての要素を含む電子アーカイブ。それぞれの目的に応じたアクセス制御を備える。

授業支援ポートフォリオの役割

- ・ 学習成果物を蓄積し提示し保管できる。
- ・ 教員だけでなく、学生同士でも成果物を評価できる。
- ・ 提出した**成果物**を学生自身が振り返ることができる。
- ・ 学生が学習を深化 (Modify) させることができる。

学生が授業における成果物を常に意識することで、



- 学生中心の授業、そのような意識が身につくのでは...?
- 自律的学習が身につくのでは...?

学習理論と評価理論のパラダイム変換（ポートフォリオの特徴）

	行動主義	認知主義	構成主義	社会的構成主義
主な理論家	スキナー	ガニエ	ピアジェ	ヴィゴツキー、レイブほか
特徴	学校化された学習		真正な学習	
知識観	知識は普遍的に真なもの		知識は一人一人が自ら構成するもの	知識は社会的な営みの中で構成するもの
学習観	知識伝達		学習者の事前知識から事後知識への質的な変化	学習者の事前知識から事後知識への質的な変化（共同体の社会的な営みを通じた内化）
主体	教師中心		学習者中心	
学習者の態度	受動的		能動的、自律的	
学習課題	学校化された課題		真正な課題	
情報システムへの運用	CAI	知的CAI	LOGO マインドストーム	CSCL eラーニング
特徴	学校化された評価		真正な評価	
評価機間	ある時点		継続的	
評価形態	テストの客観的な評価		学習者のパフォーマンスの主観的な評価	
評価される対象	テストの点数を重視		学習活動のプロセスを通じた学習成果物や記録を重視	
評価の在り方	学習と切り離された評価		学習に埋め込まれた評価	
評価方法	テスト		ポートフォリオ	
	能力測定	学習プロセス同定	セルフアセスメント	ピアアセスメント 専門家による他社評価

日本の大学で利用されているポートフォリオの分類

1) コースラーニング系

ー授業支援ポートフォリオ

- ・ 授業ごと、グループごとに成果物を管理できる。
- ・ 学生同士の評価や教員評価が可能である。
- ・ 学習の振り返りができる。

2) ディベロップメント系

ーキャリア支援ポートフォリオ

- ・ 学生のプロフィールを蓄積し長期的なデータ管理が可能である。
- ・ 自己PRの資料を公開できる。
- ・ 卒業生とのデータの比較が可能である。
- ・ 求人検索との連携が可能である。

ーティーチングポートフォリオ

- ・ 教育活動の成果と質を証拠立てる資料を蓄積し、教育業績の評価を受けられる。
- ・ 教職課程の実践演習評価などで利用できる。

ーショーケースポートフォリオ

- ・ 学習者が選んだベストワークだけを閲覧可能にできる。
- ・ 学習者の履歴書として再構築しやすい。

eポートフォリオ利用の利点（教員からの視点）

- 蓄積されたデータの編集や統合がしやすい。
- 音声や動画に対応しやすい。
- 長い時間保管が可能である。
- 必要な情報のみをとりだせる。
- 一連の学習プロセスの中で評価が可能である。
- 自己評価や他者評価による総合評価が可能である。
- 学習者の成長そのものを評価できる。
- プロフェッショナリズムが評価できる。
- 学習における最終的な到達レベルを評価できる。

日本の大学で利用されているeポートフォリオ

製品名	特徴
Sakai - OSPI（オープンソース） 連携型	Sakaiのツールの1つとして取り込むことができる。マトリックス等の機能を有しているが、導入までに時間を要する。
Mahara（オープンソース） 連携型	蓄積された成果物（レポート、ブログ、ファイル）を授業やゼミ、グループごと、必要なファイルにまとめて、対象者へ公開することができる。SNSを装備することも可能である。
BlackBoard eポートフォリオ（CSK） 機能一体型	LMSの追加機能として利用することができる。ユーザはテンプレートに自分のコンテンツを組み入れてカスタムポートフォリオを作成できる。
Manaba folio（朝日ネット） 単体利用型	レポートや実習記録、作品をコース（授業やゼミ）ごとに収集し、その成果物を学生同士で相互評価したり、教員から評価を受けることが可能である。
WebClass eポートフォリオ 学習カルテフォリオ 機能一体型 東京学芸大学、金沢大学、大分大学ほか	WebClass 上の一機能として利用することができる。コースごとに成果物を管理でき、学生同士で相互評価、教員評価が可能である。ループバックによる評価を基本として、その結果が自動的にグラフ化される。ショーケースポートフォリオの構築も可能になる。